

平成 26 年度キャリア教育プログラム開発事業

委託事業実施報告書

平成 27 年 3 月

目次

I	委託事業の目的・内容.....	1
1.	目的.....	1
2.	内容.....	1
II	委託調査結果の概要.....	2
1.	「キャリア教育プログラム開発事業に関する検討会」の設置・運営.....	2
(1)	検討会の設置・運営・開催.....	2
(2)	キャリア教育プログラムの開発と提供.....	4
2.	大学における好事例の収集・ヒアリングの実施等.....	7
3.	教材の作成と提供.....	9
4.	検討会の報告.....	10
5.	報告書の作成.....	10
6.	ホームページによる関連情報の提供.....	10

I 委託事業の目的・内容

1. 目的

職業生活の長期化や働き方の多様化、技術革新の進展や産業・就業構造の変化等に対応して若者の雇用については、フリーター・ニート数の高止まり、若年労働者の早期離職の問題があり、学校から社会・職業への円滑な移行に向けた基盤整備が急務となっている。特に、大学等の高等教育機関が、多くの若者にとって社会に出る直前の教育段階であることを踏まえ、学校から社会・職業への移行を見据えたキャリア教育の充実を目指すことが必要となっている。また、大学等設置基準の改正により、平成 23 年度から職業指導（キャリア・ガイダンス）の実施が制度化されるなど、大学等高等教育機関のキャリア教育の現場におけるキャリア形成支援の必要性が増している。

そこで、効果的なキャリア教育を実施するために、必要な職業についての情報の付与や、キャリア・コンサルティングのツールやノウハウなど、労働行政が有する知見を活かしたキャリア教育のためのプログラムを開発するとともに、職業情報に関する教材の開発を行い、大学等におけるキャリア・教育の推進を図ることを目的とする。

2. 内容

- ① 有識者や実務者からなる検討会の運営
- ② 好事例の収集・ヒアリングの実施
- ③ 教材の作成と提供
- ④ 検討会の報告
- ⑤ 報告書の作成
- ⑥ ホームページによる関連情報の提供

II 委託調査結果の概要

1. 「キャリア教育プログラム開発事業に関する検討会」の設置・運営

(1) 検討会の設置・運営・開催

有識者、大学等関係者、企業関係者等を構成員とする「**キャリア教育プログラム開発事業に関する検討会**」を設置し、キャリア教育プログラム等の開発にあたって、より専門的な調査・検討を行った。

検討会は年度内に5回開催した。また、作業部会を別途2回開催した。

平成26年度「キャリア・コンサルティング研究会」参集者名簿

(敬称略、五十音順、所属等は平成26年7月時点のもの、◎：座長)

川崎 友嗣 関西大学 社会学部 教授

栗原 清一 クリロン化成株式会社 代表取締役

児美川 孝一郎 法政大学 キャリアデザイン学部 教授

坂井 徹 株式会社アイガ 代表取締役CEO

◎ 本間 啓二 日本体育大学 教養・教育科 教授

室山 晴美 独立行政法人労働政策研究・研修機構 統括研究員

(オブザーバー)

文部科学省 高等教育局

(事務局)

厚生労働省 職業能力開発局 育成支援課 キャリア形成支援室

三菱UFJリサーチ&コンサルティング 経済・社会政策部

平成 26 年度「キャリア・コンサルティング研究会」 主な検討経過

○検討会

回数（年月日）	主な議題
第 1 回 （平成 26 年 7 月 11 日）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討会開催要綱（案）について ・ 調査等実施計画（案）について ・ キャリア教育プログラムの開発について ・ 大学における好事例の収集・ヒアリングの実施について ・ 職業に係る従業員ヒアリングと教材の作成について
第 2 回 （平成 26 年 9 月 26 日）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学ヒアリングと好事例集作成（中間報告）について ・ キャリア教育プログラムの開発（経過報告）について ・ 企業ヒアリングと教材の作成について
第 3 回 （平成 26 年 12 月 26 日）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学ヒアリングと好事例集作成について ・ キャリア教育プログラムの開発（経過報告）について ・ 企業ヒアリングと教材の作成について
第 4 回 （平成 27 年 2 月 18 日）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学ヒアリングと好事例集作成について ・ 企業ヒアリングに基づく教材案について ・ キャリア教育プログラム（最終案）について
第 5 回 （平成 27 年 3 月 5 日）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果物の大学等への周知方法について ・ 大学ヒアリングと好事例集作成について ・ 企業ヒアリングに基づく教材案について ・ キャリア教育プログラム（最終案）について

○作業部会

回数（年月日）	主な議題
第 1 回 （平成 26 年 8 月 29 日）	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育プログラムの検討
第 2 回 （平成 26 年 12 月 11 日）	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育プログラムの検討

(2) キャリア教育プログラムの開発と提供

(1) の「平成 26 年度キャリア教育プログラム開発事業に関する検討委員会」の座長である本間啓二教授（日本体育大学）および委員の室山晴美統括研究員（労働政策研究・研修機構）の協力のもとに作成し、(1) の検討委員会における検討を経て、「**大学生のための『キャリア教育プログラム集』**」を開発した。

本プログラム集は、「職業興味の理論と解釈」「職業レディネステストを使った自己理解」「職業の中の仕事を探す（課業分析を通じて）」「キャリア・シミュレーション（失業や長時間労働などの困難への対処シミュレーション）」など、計 34 本の教育プログラムを収録している。各プログラムは、プログラムのテーマやねらい、授業の実施手順等を記載した表形式をとり、また、各プログラムで使用するワークシート等の付随資料を有する場合がある（いずれも厚生労働省のホームページにてダウンロード可能な形で公表されている。）

本プログラム集は、キャリア教育プログラムの全域を網羅するものではなく、これまで厚生労働省等が開発してきた各種ツールを核としながら、「社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力」を高めるような教育プログラムとして作成したものであり、主として大学生を対象に大学でキャリア教育を行う指導者に、授業を考える上での参考としてもらうことを目的に作成・提供するものである。

○各プログラムの構造

原則として以下のような構造となっている。

1. 概要	
タイトル	高めることが期待される能力 「社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力」
・使用するツール ・ねらい ・実施学年 ・実施時期 ・適正人数 ・実施手順 ・評価観点 ・資料構成 / 等	
2. 授業用ワークシート	
3. 授業用説明資料（投影用パワーポイント資料、配付用資料等）	

○プログラムの構成（ラインアップ）

知識・理解を深めてもらいたい分野の別から、「自己理解」「職業理解」「その他（（労働市場、労働法、ワークルールほか））」の大きく 3 つのジャンルに分類している。

A. 自己理解（12本）

No.	テーマ	実施時期
A-1	職業興味と自己理解1 (理論と解釈)	1年後期～3年前期 (A-2、A-4又はA-5の前が望ましいが、後でも可)
A-2	職業興味と自己理解2 (職業レディネステストの実施)	1年後期～3年前期 (A-1の後が望ましい)
A-3	職業興味と自己理解3 (職業レディネステストの結果を使ったグループワーク)	1年後期～3年前期 (A-2の後)
A-4	VRTカードを使った自己理解1（興味）	1年後期～3年前期 (A-2の後が望ましい)
A-5	VRTカードを使った自己理解2（自信）	1年後期～3年前期 (A-2の後が望ましい)
A-6	VRTカードを使った自己理解3 (結果を使った分析)	1年後期～3年前期 (A-4又はA-5の後)
A-7	OHBYカードを使った自己理解の深化1 (OHBYカードの実施)	1年後期～3年前期
A-8	OHBYカードを使った自己理解の深化2 (OHBYカード実施後の発表)	1年後期～3年前期 (A-7の後)
A-9	働くための能力、興味、価値観を知る (キャリア・インサイト1)	2年～3年
A-10	働く時の行動特性や性格・傾向を知る (キャリア・インサイト2)	2年～3年
A-11	職業への興味や能力から適職を探す (キャリア・インサイト3)	2年～3年
A-12	将来のキャリア・プランを考える (キャリア・インサイト4)	2年～3年

B. 職業理解（11本）

No.	テーマ	実施時期
B-1	職業の中の仕事を探す (課業分析を通じて)	1年～3年
B-2	職業（アルバイト等）の職務分析	2年～3年 (B-1の後が望ましい)
B-3	職業インタビュー	1年～3年
B-4	職業の世界を知る (ハローワーク・インターネットサービスの活用1)	2年～3年
B-5	職業調べ (ハローワーク・インターネットサービスの活用2)	2年～3年
B-6	様々な働き方について学ぶ (TOKYOはたらくネット・ポケット労働法)	3年～4年
B-7	資格・免許について学ぶ (資格サイトの活用)	2年～3年 (B-3又はB-5の後が望ましい)
B-8	社会人インタビュー情報から学ぶ1	3年～4年

B-9	社会人インタビュー情報から学ぶ2	3年～4年
B-10	社会人インタビュー情報から学ぶ3	3年～4年
B-11	社会人インタビュー	3年～4年 (B-8、B-9、B-10のいずれかの後 が望ましい)

C. その他（労働市場、労働法、ワークルールほか）（11本）

No.	テーマ	実施時期
C-1	ディスクジョッキーへの悩み相談 (事例を使った課題解決)	1年～3年
C-2	学生相談ケーススタディ	1年後期～2年後期
C-3	就労相談ケーススタディ	3年後期～4年
C-4	職業生活での様々な問題を考える (キャリアシミュレーション・プログラム)	2年～4年
C-5	労働問題アドバイザーになろう (アルバイト)	3年～4年
C-6	労働問題アドバイザーになろう (就職問題)	3年～4年
C-7	ワーク・ルールについて学ぶ (TOKYOはたらくネット・ポケット労働法)	3年～4年
C-8	就職率、離職率や労働市場について学ぶ	3年～4年
C-9	就職のための求人情報と応募書類に ついて知る	4年
C-10	学生用ジョブ・カードについて知る	4年
C-11	職業訓練について学ぶ	3年～4年

2. 大学における好事例の収集・ヒアリングの実施等

大学におけるキャリア教育プログラムの好事例について、関係者にヒアリングを行う等、必要な情報の収集を行い、1. で開発するキャリア教育プログラムの参考とするとともに、「**大学におけるキャリア教育プログラム事例集**」としてとりまとめた。(事例集は、6. のとおり厚生労働省のホームページでダウンロード可能な形で提供する。)

○事例として取り上げた大学およびプログラム

大学名	プログラム
1. 宇都宮大学 【国公立】(学生数 4,156 名)	①「人間と社会」 ②「キャリアデザイン」
2. 広島大学 【国公立】(学生数 10,959 名)	①「職業選択と自己実現－自分のキャリアをデザインしよう」
3. 法政大学 【私立】(学生数 27,115 名)	①「キャリアデザイン入門」(A 教員) ②「キャリアデザイン入門」(B 教員)
4. 京都産業大学 【私立】(学生数 12,843 名)	①「自己発見とキャリア・プラン」
5. 関西大学 【私立】(学生数 28,459 名)	①「キャリアデザインⅡ (仕事の世界)」 ②「職業指導科教育法(一)」 「同(二)」
6. 九州産業大学 【私立】(学生数 10,504 人)	①「キャリア形成基礎論」 ②「キャリア形成戦略」

※学生数は、原則として 2014 年度。

※事例集の作成にあたっては、上記の大学にご協力いただいた。

○事例の選定やとりまとめにあたっての方針

○調査対象の大学・プログラムの選定について

- ・ 6 事例ながら、国公立と私立、大学が立地する地域について、ある程度バランスに配慮して大学を選定した
- ・ キャリア教育として実施されている教育プログラムの中から、職業情報を提供して仕事理解を促しつつ、それだけにとどまらずに自己理解やワークルールの理解を行っているもの、あるいは各種ツールを活用しているなど、学生の適切な職業選択につながるような独自の工夫のあるキャリア教育プログラムに着目した

○事例のとりまとめ

- ・ 本書で紹介するようなキャリア教育プログラムを導入しようとする大学等にとって参考となるよう、プログラムの配当年次・学期、総時間数（6 事例とも 90 分×15 コマであった）、授業の構成（15 コマの内容）などの詳細を紹介するようにした
- ・ 特徴的なキャリア教育プログラムが導入・実施されている背景には、その大学におけるキャリア教育についての考えや方針があることから、それらについても取材し紹介することとした

○調査方法等

○調査方法

- ・ インタビュー調査

○調査対象者

- ・ 調査対象校におけるキャリア教育についての考え・方針等について
 - ・ キャリア教育担当教員、キャリアセンター職員（センター長など）など
- ・ 調査対象とするキャリア教育プログラムについて
 - ・ 当該プログラムを企画ないし担当している教員・職員等

※調査対象者の選定は大学側に委ねた

○調査実施時期

- ・ 2014年8月～10月

3. 教材の作成と提供

大学生が職業理解や業界選択を行う上で役に立つ情報を提供できるよう、中堅大学等の学生が多く就職している職業等について、職業の情報や働く人の生の声、職業に就くための情報、キャリアアップのための情報等を収集・整理し、「若手・中堅・ベテラン社員へのインタビュー集」としてとりまとめた。(インタビュー集は、6. のとおり厚生労働省のホームページでダウンロード可能な形で提供する。)

○インタビュー集で取り上げている事例（職業・世代）

職業	世代
①一般事務の仕事 ②営業の仕事 ③介護サービスの職業 ④情報処理・通信技術者 ⑤製造技術者 ⑥商社の仕事	・「若手」 ・「中堅」 ・「ベテラン」

○インタビュー集の作成の趣旨および活用方法

○趣旨

- ・ 本インタビュー集は、代表的な6種の職業について、各3世代（若手・中堅・ベテラン）の社員に対するインタビューに基づき作成したものである。
- ・ 「事務」や「営業」など、抽象的で大学生が理解しづらい職業や、「介護」「商社の仕事」など、今後少子高齢化やグローバル化が進行する社会においてニーズが高まると考えられる職業を取り上げている。
- ・ 取り上げた職業について、①大学生の理解の促進、②世代による違いを理解することの大きく2点を狙いとしている。

○活用方法

- ・ 本インタビュー集は、「厚生労働省 平成26年度キャリア教育プログラム開発事業」で開発した、キャリア教育プログラムで使う教材として活用することを想定している（「【B-8】社会人インタビュー情報から学ぶ1」～【B-10】社会人インタビュー情報から学ぶ3」のプログラムの教材として）。
- ・ 本インタビュー集を単体で、授業の資料等として活用することも可能である。

○協力企業等

インタビュー集作成にあたっては、次の企業にご協力いただいた。

(順不同・あいうえお順)

- ・ 株式会社アイガ（愛知県名古屋市）
- ・ クリロン化成株式会社（大阪府大阪市）
- ・ 株式会社シルバーメディカルサービス（神奈川県横浜市）
- ・ 丸紅株式会社（東京都千代田区）

4. 検討会の報告

検討会における検討内容及び検討状況について、適宜、厚生労働省に報告した。

5. 報告書の作成

①～③の結果を本報告書にまとめ、厚生労働省に提出した。

6. ホームページによる関連情報の提供

本事業の成果については、ホームページにてキャリア教育に関わる有益な情報として提供を行うものとする。

○ホームページで提供する成果物

- ①委託事業実施報告書（本報告書）
- ②「大学生のためのキャリア教育プログラム集」
- ③「大学におけるキャリア教育プログラム事例集」
・付属資料等（ワークシート等）
- ④「若手・中堅・ベテラン社員へのインタビュー集」
（③でも付属資料の一部として収録している）

平成 26 年度「キャリア教育プログラム開発事業」
委託事業実施報告書

平成 27 年 3 月 発行

厚生労働省 職業能力開発局 育成支援課 キャリア形成支援室
〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2

<調査委託先>

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社